

# PET-CT検査を受けられる患者の皆様へ

検査上での注意事項です。予めよくお読み下さい。

## 1. 来院時間について

当日は予約時間の30分前までに岩手医科大学附属病院(矢巾)1階新患受付にお越し願います。

予約時間には遅れないようご注意ください。

予約後、来院できない場合や検査をキャンセルされる場合には3日前までにご連絡ください。連絡がない場合は、お薬の実費(約55,000円)を請求させていただくことがあります。

## 2. 検査前日及び当日の過ごし方等について

- ・検査前日と当日は、激しい運動(長時間の歩行等)をお控え下さい。
- ・検査前は4時間以上の絶食が必要です。
- ・心サルコイドーシスの検査の場合は18時間以上の絶食と、最後の食事を低糖質、高脂肪食にする必要があります。ご不明の場合はお問い合わせください。
- ・検査直前まで、水、お茶は差し支えありませんが、糖分を含んだジュース等とはとらないで下さい。検査当日の糖尿病の血糖降下薬やインスリン注射については主治医にご確認ください。上記以外のお薬は、内服していただいても結構です。
- ・持続血糖測定器を装着の方は検査を実施できないので事前に取り外しをお願いします。
- ・注射から撮影開始までは、ご案内するまで待機室でお待ち願います。
- ・検査撮影終了後は会計を済ませ、すみやかにお帰りください。
- ・検査終了後約12時間は、妊産婦、未成年の方との接触をお控え下さい。

## 3. PET-CT検査について

### (1) 検査の方法等

ブドウ糖に放射化したフッ素(18F)を付けたFDGという薬を静脈注射し、1時間程度安静にさせていただき、その後30分間全身を撮影します。このとき、上向きで寝ていただく必要があります。検査は安静に寝ているだけで終了します。なお、必要に応じて遅延相撮影(約20分)を行う場合があります。

### (2) 検査の限界

がんの種類によっては、見つかりにくいものもあり、正確な診断ができないことがありますので、予めご理解願います。

### (3) FDGの安全性と副作用

今回の検査では放射性医薬品による被ばくと、CTによる被ばくを受けますが、今回の検査による被ばくで、有害事象が発生するリスクは低いと考えられます。FDGの静脈注射による副作用としては、軽度のアレルギー反応の報告がありますが重篤なものはほとんどありません。

### (4) 検査後の注意事項

FDGは主に尿として排泄されますので、検査終了後は水分を多めに摂取し、ご帰宅いただきま

す。また、検査後ご自宅では、いつも通りの生活をしていただいて差し支えありません。授乳については、検査後24時間は控えて下さい。

(5) 付き添いについて

日常生活において介助を必要とされる患者さんは、検査の間どなたかの付き添いを お願いしています。付き添いのできない場合は、安全に検査を行うことができないため、検査をお断りすることがあります。また付き添いの方も少量ですが被ばくを受けます。**妊娠の可能性のある方、妊産婦、未成年の方を連れた受診は控え下さい。**

(6) その他

PET検査の1週間前はバリウムを用いた検査(胃透視、注腸検査)は控えてください。30分上向きで寝ることができない患者さんは、岩手医科大学附属病院 核医学 PET 受付までご相談下さい。